

「勝ち組工務店・ビルダーTOP対談」シリーズ51

思いやる“怒”の心で累計1万戸へ 住まいづくりの老舗企業

株式会社ビーバーハウス(大阪府)

「住まいのトータルクリエイター」として、大阪・奈良を中心に事業を展開しているのが株式会社ビーバーハウス様(大阪府中野区)。グループとしては、新築戸建分譲住宅を軸にリフォーム事業、賃貸マンション事業、幹渉・管理、さらには注文住宅、不動産仲介と地域に根づくながら実績を残してきています。



株式会社ビーバーハウス 川野社長(右) 野村社長(左)

大道：これまでに御社が提供した住宅は約9千戸にもなるそうですね。

川野：野球ではないですがコソコソとヒットを重ねていけば記録も生まれるように、私たちも創業からコソコソと45年間、家づくりに励んできた結果、1万棟も見えてきただけのことです。

大道：特徴のある社名ですが、何由来があるのですか。



株式会社ビーバーハウス 川野社長

川野：カナダのビーバーは外敵に襲われない為に幅員200mもある川に1本1本、木をくわえて運んで川の中に自分達の巣を作ります。巣は200mにも及ぶこともあることからダムにもなるとも言われています。弊社は巣作りの名人にあやかってビーバーを社名にしました。

大道：川野社長が住宅事業に進まれたきっかけは何ですか。

川野：私は大分県出身で夜間高校卒業後、フンドリー醤油屋に入社し、支店長から醤油を売ってこいと言われたことで販売のスタートを切りました。当時、シャープの創業者の早川徳次の伝記を読み感動し、将来はチャンスがあれば経営者になりたいと心に秘めていました。しかし、当時は社会のことが全く分からなかったもので、取りあえず夜間大学へ入学しようと航空自衛隊に入隊しました。一方で母親代わりで養育を受けてきた祖母への仕返りが絶対条件でした。

大学を卒業と同時に自衛隊を退隊し、1966年に26歳で大阪へ出てきて、30歳までに独立できると、まずは小規模不動産会社にも勤めました。半年後に衣食住の一角であり、且つ現金商売であることからライフワークとしてやっていけると判断しました。

大道：いつ頃、独立できたのですか。

川野：会社が小さかったために仕事を任されていたことが幸いし、一年後に現職より現業で建設関係の人の軒下を借りて、事実上の独立ができました。

大道：苦勞すること多かったのではないですか。

川野：当初、電話での早口の大阪弁が分からなかったで、2万円の中古テープレコーダーを購入し、徹底的に大阪弁を勉強しました。でも、自分の好きな仕事だったので、大の苦のことは苦勞とは思っていませんでした。

「安心して打ち合わせしていただきたい」 ベビシッターがいる会社

大道：御社が成長してきた中で、大事にされてきたことがあれば教えてください。

川野：基本的なことですが、百貨店のマナーを参考にしたり、不動産業界の悪い慣習を改め、言語・態度・情熱の教育を徹底しました。一方で、35年前からアフターサービスにも力を入れてきたことが



分譲住宅外観

ら、ツーバーフォー工法の導入や完成検査の徹底、家歴書等に連動しています。

大道：ベビシッターもいらっしゃるそうですね。

川野：ベビシッターの登用もその流れの一貫です。当社は売建て方式です。つまり打ち合わせに20時間から30時間くらいかかりますが、乳幼児のいるご夫婦だと打ち合わせに集中できません。そこで、ベビシッターの方に面倒を見てもらうことで安心して打ち合わせしていただけるというわけです。

社員のいいところを育てる。 吉田松陰の長所伸展法で 社員を伸ばす。

大道：社員教育を進める上での基本的な考え方があればお聞かせ下さい。

川野：15年前程からは、幕末の志士、吉田松陰先生の長所伸展法も登用しています。私自身が幾多の失敗体験の中で今日があるわけですから。弊社は大手企業の切捨て御免の消去法でなしに敗者復活戦あります。ギョッパッしなれば必ずや道は開かれます。そして現在切実に感じる事は、特に家内を始め、中心幹部が私の厳しい指導に従ってついてきてくれたお蔭で今日があります。従って、今後は各幹部や各社員と再度コミュニケーションを図り、長所伸展法により、各幹部や各社員の実力の顕在化に尽力していきます。また、想(じょ)の心を忘れぬようにも指導していきます。

大道：想の心とはどのようなものですか。

川野：私の座右の銘でもあるのですが、想とは思いや

りということです。思いやりの心で許すことです。旁(つくり)の口は国、造物主を表し、母親は大きな心で自分の子供をどこまでも許し、思いやるということ。孔子の高弟の一人、子貢が為政者にとって大切なことを一字にするとうるかと尋ねたら、それ即ち恕かと答えたそうです。私凡凡人は少しでも恕の心で各幹部や各社員、ビーバー会の皆さんと共存共栄路線の下でやっていけたらと願っています。



分譲住宅内観①

大道：今後の目標を教えてください。

川野：このまま、想の心を忘れずに成長していくことです。そうすれば、累計1万棟も無事に進められると思っていますが、まだ弊社は精々点と線の戦いしか出来ていません。今後は点と線の戦いで、大阪府下において、上場企業を含め、全不動産業者の中で総合評価ベストテンを目指します。

大道：私共も、ぜひ協力させて頂きたいです。 ●●●

株式会社ビーバーハウス様の
・わ・が・町・自・慢・
◆平野郷夏祭り◆

平野郷に盛夏の訪れを告げる大阪市内で最大規模の地車(だんじり)祭。道路を封鎖して9つ町ことこの地車が集結する「九町合同曳行」や夕刻から深夜にかけての「駕入」は迫力満点です。



分譲住宅内観②

思いやりの住まいづくりを支える若い社員

“ビーバーハウスはチャレンジします”



ビーバーハウスグループで注文住宅事業を担うのは注文住宅レストです。レストが作る注文住宅は、ご家族が健やかで心地よく暮らせることはもちろん、環境にも配慮した性能にこだわった一歩先行く住まいです。住まいづくりは、まずは敷地調査を徹底的に行い、得たデータを元にお施主様と一緒に造り上げていきます。

お施主様に少しでも満足度を高めていただけるように、専門知識と豊富な経験を持った若い社員が思いやりの心を持って住まいづくりを支えています。



上：仕事風景 下：社内会議

スペシャリストが結集し チームワークで家づくり

注文住宅もリフォームもスペシャリストがチームを組んで、全力でお客様をサポートします。チームに集まるのは営業担当者、プランナー、現場監督、現場職人、アフターサービス隊。

チームを組んで一軒一軒に集中することで、お客様の理想をカタチにしていくために必要な知恵が働き、力ができます。

何事もお待たせせずに 迅速に解決します！

「私たちが地域に貢献できること、それは住まいに関するご不便やご相談ごとを、お待たせせずに解決し、心地よい住まいを提案することです」とビーバーハウスの社員の皆様は口にします。ここで大事なのは迅速処理ということ。アフターサービスもメンテナンスも何事にも迅速に行動します。そこにもお客様に対する思いやりの気持ちが溢れています。

住まいづくりには いろいろな目線が必要

ビーバーハウス様の社員は女性スタッフが多いという特徴もあります。これは、川野社長の「女性性は住まいを見る目も違います。住まいづくりにはいろいろな目線が必要ですよ」という考えがあるからです。

お施主様が満足いく住まいづくりをするためには、お施主様の目線に合わせた思いやりの気持ちが大事になります。



お施主様との打ち合わせ



仕事風景①



女性スタッフ

一枚の、森。

いにしえより人は森とともに生きてきました。水に囲まれていると深く思われるかもしれません。そんな自然な大地の恵みのせいかは知らず。おだやかな森のやわらかな木の香りが、肌にあふれるぬくもり。私たちの五感と本能に寄り添う木の力は、一枚の板に姿を変えても生き続けます。まるで木はかのように、律動し、安らぎを伝えてくれる。それは、無垢のフローリングでなければ得られない歓びです。

本物が息づく無垢フローリング

PREMIER MUKU
プレミアムク